

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	日本建築史小委員会	主 査 名：溝口 正人 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：西澤 泰彦
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	日本建築史研究成果の情報交換と研究の活性化 1) 日本建築史研究者の相互批判と情報共有のための研究会開催 (関東、関西) 2) 文化庁補助による近代和風建築・近代化遺産調査の内容整理と総合化 3) 日本建築史研究の成果の英語による発信	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 現在定員 14 名	
	主査：溝口正人 (名古屋市立大学) 幹事：清水重敦 (京都工織大学) 委員：青柳憲昌 (立命館大学)、赤澤真理 (大妻女子大学)、梅津章子 (文化庁)、海野聡 (奈良文化財研究所)、大野敏 (横浜国立大学)、金出ミチル (長岡造形大学)、是澤紀子 (日本女子大学)、富島義幸 (京都大学)、野村俊一 (東北大学)、藤井恵介 (東京大学)、麓和善 (名古屋工業大学)、光井渉 (東京藝術大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2019 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無し

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1) 関西では近畿支部建築支部建築支部会が組織されており 2019 年度には研究会が 2 回開催された (8/25、12/7)。関東では日本建築史研究会が 2019 年度に再興され、研究会が 3 回開催された (11/16、12/14、2/8)。また若手奨励特別研究委員会と連携しながら、日本建築史の発信のための枠組み造りについて情報交換を行った (12/22)。 2) 3) については、1) の活動時を中心に、委員間の情報交換を随時行い課題整理を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1) 研究者の世代交代が進み、新たな体制づくりが望まれる。 2) 民間所有建造物の保存活用計画への国庫補助が導入されるなか、社会への還元となる保存活用活動との関係整理が必要である。 3) 『日本建築史図集』翻訳の膨大な作業量をどのように処理するか。

